

## 産業標準案作成対象テーマ コメントシート

No.	規格番号	委員名	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C6825	石井 (NHK)	「規定項目又は改正点」が見切れています。		当方の確認不足によりご迷惑をおかけし申し訳ございません。 当該ファイルは、修正後すぐに差し替えさせていただきました。 今後は、複数人でのチェックを徹底し、同様の見落としがないよう努めます。

以上

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
諏訪 1	19			Ge	<p>まえがきが古い形式で書かれている？</p> <p>この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である～</p>	<p>この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である～</p> <p>を以下に修正する。</p> <p>この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である～</p>	<p>JIS Z 8301 12.5.1 (定型文)の「a) 制定又は改正の根拠」に従って記載しておりますので、このままとさせていただきます。</p> <p>この規格は制定案件ゆえ、「第 16 において準用する同法」部分 (改正時に必要な部分) は不要となります。</p>

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C60793-1-53</b> 制定	プロジェクト:
----------------	-----------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	88	4		ed	<p>少なくとも 1 000 m</p> <p>「少なくとも」は数えられる量に用いる。</p>	「1 000 m 以上」に変更する。	<p>昨年制定で公示した C60793-1-50、-51、-52 の 3 規格では、「光ファイバサブカテゴリ A1a から A1d までで少なくとも 1 000 m、光ファイバクラス B 及び C で少なくとも 2 000 m でなければならない」(C60793-1-52 より)と記載されております。</p> <p>今回の C60793-1-53 を含め、これら 4 つの規格は、それぞれの環境への耐性を判断する試験であり、実務上、複数規格を併用する機会が多いと考えられます。</p> <p>このため、C60793-1-53 だけ記載方法を変更いたしますと、使用者に混乱や誤解を招く恐れがございます。</p> <p>以上の理由から、既存規格との整合性を保つために、修正せずこのままお願い致します。</p>
					<p>IEC 60793-1-50, -1-51, -1-52 の SD:2026 のため、改訂の可能性はある。</p>	<p>少なくとも近い表現で「最短でも」に修正してください。之であれば、「少なくとも」と違和感はないと思います。</p>	

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C60793-1-53</b> 制定	プロジェクト:
----------------	-----------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							表現についてもご検討いただきましたが、他の <b>3つのJIS規格</b> を後日修正する場合には、規格文書としては、「最短でも」よりも「 <b>1 000 m以上</b> 」とする方がより適切であると考えます。つきましては、本規格では「 <b>1 000 m以上</b> 」および「 <b>2 000 m以上</b> 」に変更致します。
渋谷 隆 2	113	5.4		ed	箇条名は試験だが、試料の安定化などが規定されている。	箇条名を試料の安定化に変更する。	昨年制定で公示した <b>C60793-1-50/-51/-52の3規格</b> と細分箇条名を統一していますので、このままでお願い致します。
					既公示済みの <b>3つのJIS</b> は次の改正時にこの規格に合わせて修正することが可能です。  なお、 <b>IEC 60793-1-50, -1-51, -1-52</b> は <b>SD:2026</b> となっており、改訂される可能性があります。		整合性より規格文書としての明確性などを重視することが重要とのお考えを踏まえ箇条名を「試料の安定化」に変更致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: C60793-1-54 制定	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	250 251 256	7.2	式(2) 式(3) 式(4)	ed	対数の底の 10 が抜けている。	対数の底の 10 を追加する。	ISO 80000-2:2019 で $\lg x$ は $\log_{10} x$ と規定されています。また、IDT で対応国際規格どおりなので、このままお願い致します。
					対応国際規格では“lg”となっている。	“log”を“lg”に変更する。	対応国際規格に合わせて、“lg”に変更致します。
渋谷 隆 2	264 276 289	8.1 8.2 9		ed	細分箇条が多い場合は、ダッシュではなく、a), b)とする方が他から引用されるときに便利である。	a), b)などに変更する。	IDT で対応国際規格どおりなので、このままお願い致します。  また、a), b)など記載すると、順番を規定していると誤解を招く、項目を追加するときに適切な順に記載されない等が、懸念されます。
					a), b)は順序を示さない場合でも用いても良い。 変更しても、IDT は維持できる。	解説に変更したことを記載してください。	この規格の次回の改正時に変更の検討を致します。
					IEC SC86A 国内委員に、次回改訂時に、リストの項目が多い場合は、ダッシュを使わないよう要請し、次回改訂時及び現在審議中の文書に対しても JPNC からコメントを出すよう要請してください。		今後、対応国際規格改訂提案の機会がありましたら、対応の検討をいたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C60793-1-54</b> 制定	プロジェクト:
----------------	-----------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 3	317	参考文献		ed	参考文献は本文中で引用されることが望ましい。	本文中で引用する。	<b>Z8301:2019</b> の <b>箇条 21</b> に 「当該規格で具体的に参照してなくてもよく、規格を作成するときに参照した資料、規格の利用者にとって参考となる資料などでもよい。」と記載がありますので、このままでお願い致します。
					今年、IEC 中央事務局から <b>Bibliography</b> に記載の文書は本文中で引用されなければならないと通知があった。対応する <b>JIS Z 8301</b> も改正されると思われるので、先回りして対応する方がこのましい。		対応国際規格どおりです。次回の改正時に変更の検討を致します。
					IEC SC86A 国内委員に、次回改訂時及び現在審議中の文書に対しても <b>JPNC</b> からコメントを出すよう要請してください。		対応国際規格どおりであり、現行 <b>Z8301</b> にも違反していないことから、現状のままといたしたく、ご理解をお願いします。  今後、対応国際規格改訂提案の機会がありましたら、対応の検討をいたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 1	48			ge	日本語は「8度斜め」と訳されているが、英語は単純に「Angled」である。角度を8度に限定する必要があるのでしょうか。	「斜め」とする。	IEC 61755-3-2 : 2006 では規格名称に 8-degree があり、「8度斜め」を示しております。それに合わせて JIS C 5965-3-2 : 2011 の規格名称においても「8度斜め」を記載しております。JIS の規格名称の変更は利用者が混乱する場合がありますため、変更せずに 8度を記載したままといたします。  IEC には、8-degree を追加して頂くように次回改訂時に提案いたします。
石井 1	p.18 I.306		図 D.2	ed	5965-3-1 では、「連続した光ファイバコネクタ番号」が 0 3 5 7 9・・・となっていました、5965-3-2 では、1 3 5 7 9 となっています。	どちらかに合わせた方が良い。	対応国際規格どおりではありませんが、連続した光ファイバコネクタ番号が奇数の数字で並んでいることから C5965-3-1 の図 D.2 を、「1 3 5 7 9」に修正します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6182 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	106	4.3		te	光の変調条件の規定がない	CW 光を規定する。 または、変調（チョッパ） 条件の場合を規定する。	御指摘に沿って、行番号 107 の文章を、「測定に用いる光ビーム光源は、等方的なガウス分布のビームプロファイルをもったコリメート光かつ一定パワーの連続光であり、次に示す条件を全て満たすものでなければならない。」と修正し、次に、「なお、変調光を入力して測定するタイプの被試験器を試験する際には、光チョッパを挿入して当該変調モードに適合する周波数の変調光に変換する。」の文章を挿入致します。
渋谷 隆 2	107	4.3		ed	平行光	コリメート光に変更する	同上。 また、行番号 220 の文章にある「平行ビーム」の文言を「コリメート光ビーム」に修正致します。
渋谷 隆 3	258	7.4.3		te	製造業者が規定する最大許容レベルの光パワーに対し、どのレベルの光パワーで試験するかの規定がない。	試験する光パワーレベルを規定する。	行番号 283 以降の具体的な測定手順において測定の際の入力光パワーは、各レンジ（のフルスケール）の 90%と指定されており、御指摘の点は特に問題とはならないと考えます。 なお、「レンジの 90%」の表記は曖昧さが残るため、行番号 286 の「～最大レンジの 90%～」を「～最大レンジのフルスケールの 90%～」に、行番号 290 の「～レンジの 90%～」を「～レンジのフルスケールの 90%～」に、それぞれ修正致します。
渋谷 隆 4	329	7.6		te	1/2 波長板は、波長依存性がある。	注記に測定波長に適合した 1/2 波長板とすることを記載する。	御指摘に沿って、行番号 330 の文章を、「～その偏光方向を、光源波長に適合した 1/2 波長板によって変化させ、～」と修正致します。
渋谷 隆 5	380	7.9		te	高出力光ビームの定義がない。 その他の試験（7.2～7.9）では、光パワーの規定がない。 3.9 過負荷試験では、製造業者が規定した最大許容レベルの光パワーとある。	製造業者が規定した最大許容レベルの 1/2 などを規定する。	行番号 384 以降の具体的な測定手順において測定の際の入力光パワーは、被試験器の最大測定光パワーと指定されており、御指摘の点は大きな問題とはならないと考えます。 ただし、具体的な光パワーを記述した方がわかりやすいと考えられるため、御指摘に沿って、行番号 380 の文章を、「被試験器で測定可能な最大光パワーの高出力光ビームを照射した場合の～」と修正致します。
石井 1	l.378			Ed	r <sub>min</sub> ：得られた r の最大値 最大値ではなく、最小値	「最小値」にする	御指摘に従って、行番号 378 の最後の行の「最大値」を、「最小値」に修正致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6760 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	簡条/細分簡条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	144	3.1.2		ed	3ポイント基準面は図1の5ポイントの任意の3点で良いのか。定義が不明確。	図1で必ず含める3点を規定する。	図1は、「5点厚さむらTV5」の測定箇所を示しており、3ポイント基準面とは関係ありません。  3ポイント基準面は、「ウェハ表面のFQAの領域での3ポイントによる面」というJIS原案の表記が良いかと思います。(FQAの領域での任意の3ポイントで形成される面との意味合い)
						「ウェハ表面のFQAの領域での任意の3ポイントによる面」に変更する。	
渋谷 隆 2	153	3.1.4		ed	定義は、引用中の定義を読み替えても通じるように規定する。定義に図を引用しない。	「平坦度適用領域の、オリエンテーションフラットを下とした上下左右の5mm内側の点及び中央の1点」に修正する。	修正案通りに修正いたします。
渋谷 隆 3	161	3.1.5		ed	TTV	和名を併記する。	「ウェハ厚さむら」を併記します。
渋谷 隆 4	163	3.1.5		ed	定義は、引用中の定義を読み替えても通じるように規定する。定義に図を引用しない。	「ウェハ裏面を基準としたときの、ウェハの最大厚さd1と最小厚さd2との差」	修正案通りに修正いたします。また、図2の引用をやめたので、注釈1を以下のような表記に修正いたします。「TTV測定は、図2に示すように、3.1.2の注釈1のa)で定義される基準面をもつクランプされたウェハで行う。 TTVは、ウェハの厚さのばらつきを表す。」

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・簡条/細分簡条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6760 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	164	3.1.5		ed	TTV が略語あるいは変数として使われているような気がします。変数として使われている場合は、イタリック記載となると思います。  (図 2 の図中に記載されている、「TTV=d <sub>1</sub> -d <sub>2</sub> 」の TTV は、変数だと考えられますが?)	変数として使われている場合、イタリックに修正して下さい。	図 2 の中の「TTV=d <sub>1</sub> -d <sub>2</sub> 」は TTV を斜体に修正いたします。  ⇒「TTV=d <sub>1</sub> -d <sub>2</sub> 」  用語と定義の部分は TTV という略号なのでそのままとさせていただきます。
渋谷 隆 5	189	3.1.8		ed	LTV	和名を併記する。	「サイト内ウェハ厚さむら」を併記します。
渋谷 隆 6	215	3.2.1		ed	洗浄方法の規定がない。	洗浄方法を規定する。	特に特殊な洗浄方法を適用して SAW 用ウェハの洗浄を実施している訳ではございません。  半導体ウェハ (Si ウェハ等) で採用されている一般的な洗浄方法をベース (参考) に各ウェハメーカは洗浄工程を構築しているので、具体的な洗浄方法を規定することは難しいため、このままとさせていただきます。
渋谷 隆 7	216	3.2.1		ed	面状及び線状の区別 (比率 5:1 など) がない。	追記する。	<b>注釈 1</b> を削除します。  IEC 規格に注釈 1 に該当する文言は無く、注釈 1 に示す汚れの形態 (面状、点状) の説明は不要なため。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6760 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 8	219	3.2.2		ed	fracture の定義がない。	Fracture の定義を追加する。	<b>(fracture)</b> を削除します。 IEC 規格の定義は、クラック(crack)とは、「表裏を貫通した、又は貫通していない割れ目」で、fracture は割れ目を意味しているため。
渋谷 隆 9	239	3.3		ed	3.1, 3.2, 3.4 に用語及び定義の対象が規定されているが、3.3 はその他となっている。その他は、一番最後の箇条に記載するのが通常。	「その他」を「ウェハ全体」などに修正する。	「その他」の意味を取り違えないためには、3.3 の項番の順番はそのまま、「 <b>ウェハ全般</b> 」に修正して <b>点下線</b> とします。 3.3 の「その他」は、3.1 及び 3.2 以外のウェハに関する定義と用語（全般）をまとめた項番であるので、3.3 と 3.4 を入れ替えて一番最後の箇条に移動するのは不自然であると考えます。
渋谷 隆 10	314	4.1		ed	「SAW ウェハの製造方法を附属書 B に示すが、これらの仕様は、既存工程の改良及び新しい工程の開発に従い見直す。」は要求事項のように思えるが、附属書 B は参考情報。	「見直すことが望ましい」「一般的に、見直すことが行われている」などに変更する。	工程変更に伴うウェハ仕様の見直しは、要求事項なので原文のままとさせていただきます。 4 項の 4.2 以降にはウェハに対する仕様の「要求事項」が記載されており、「既存工程の改良及び新しい工程の開発」等の変化が発生した場合は、ウェハの仕様の見直しが必要であるとする。工程 FMEA 的な

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6760 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							作業は必須であり、その結果として、仕様変更が必要な場合もあるし、ない場合もある。  附属書Bはあくまでも現状における一般的製造工程を示しております。
						「一般に用いられている SAW ウェハの製造方法を附属書 B に記載する。箇条 4 に規定する仕様は、既存工程の改良及び新しい工程の開発に従い見直す。」に変更する。	修正案通りに修正いたします。
諏訪 1	454	6.16		ed	印可してから	印加してから	修正案通り修正いたします。
石井 1	p.31	附属書 C		Ge	附属書 C 明度及び色差の測定原理について<参考文献>に CIE 15:2004 3rd, COLORIMETRY を挙げていますが、 JIS Z 8781-4 : 2013 は必要ないでしょうか。	必要であれば挙げてください。	JIS Z 8781-4 : 2013 が IEC 規格で記載されている CIE 15:2004 3rd, COLORIMETRY  と同等であるか判断できないため、今回は参考文献に含めないこととさせていただきます。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: JIS C 6804	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	1108	C.5	図 C.1	ed	図中のパラメータ、「 $R_R$ , $R_{INT}$ , $R_L$ , $R_S$ 」の添え字がイタリックのような気がします。確認をお願いします。	添え字がイタリックの場合、修正して下さい。	添え字の部分は直立体に修正いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6823 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	150	3.1.1		ed	定義で図を参照しない。	注釈 1 で図 1 及び式(1)を参照する。	修正コメントに同意し、注釈 1 で図 1 及び式(1)を参照するよう変更致します。
渋谷 隆 2	161	3.1.2		ed	定義に式を含めない。	式(2)を注釈 1 に移動する。	修正コメントに同意し、式(2)を注釈 1 に移動するよう変更致します。
渋谷 隆 3	187	3.1.7		ed	Encircled flux の定義の注釈に式を示す方が良い。	JIS C 61300-1: 2024 の 3.1.10 の表現に合わせる。又は附属書 O を参照する。	修正コメントに同意し、注釈 1 を追加し「エンサークルドフラックスの算出は、式 (O.1) による。」の文言を追加するよう変更致します。
渋谷 隆 4	193	3.2		ed	RTM に対する ATM (代替測定方法) の略語も追加する方が良い。	ATM (代替測定方法) を記載し、本文中の代替法を ATM に変更する。	修正コメントに同意し、3.2 略語に ATM を追加記載し、本文中の代替法を ATM に変更致します。
渋谷 隆 5	256 487	7.8.2 10.7		ed	細分箇条が 10 あるため、他から引用することを考えるとダッシュよりは a), b) などの方が良い。	a), b) などに変更する。	対応国際規格との整合性を優先し、他の箇条との一貫性を保つため、このままということをお願い致します。
					ダッシュを a), b) に変更しても IDT は保たれる。他の JIS も細分箇条が多い (6 以上) 場合、a), b) にすることが望まれる。 本文に注記で説明する必要はないが、解説の改正点に記載する必要がある。		対応国際規格の次回改訂時に変更の提案をするとともに、この規格の次回の改正時に変更の検討をいたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6823 改正</b>	プロジェクト:
----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					SC86A 国内委員に、この JIS の対応国際規格の次回改訂時だけでなく、現在審議中の文書に対しても、JPNC から同じコメントを出すように、要請してください。わかりやすい JIS を作成するには、JIS 作成メンバと IEC 国内委員との密な情報交換、IEC 審議文書への積極的なコメント提出が重要です。		今後、対応国際規格改訂提案の機会がありましたら、対応の検討をいたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6870-1-21 改正</b>	プロジェクト:
----------------	----------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	簡条/細分簡条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	304 - 309	3.3		ed	図 1 及び図 2 で示す個々の装置が網羅されていない。例えば光ファイバ測定装置がない。	図 1 及び図 2 に示す測定系の例と装置一覧を合わせる。	図 2 の上図の題名に「上から見た図」、下図の題名に「横から見た図」と追記します。  また、説明のため図 2 に注記で「横から見た図には各部位の名称を記載しており、上から見た図は、引留リール及び可動装置を分かりやすくするために、補足として記載している。」と追記致します。
渋谷 隆 2	349	3.4.2		ed	3.4 手順、3.4.2 手順と同じ簡条名が使われている。	3.4.2 の簡条名を例えば「試験の手順」などに変更する。	ご提案通り 3.4.2 の簡条名を「試験の手順」に変更致します。
山田 1	485 488	5.6	図 5 図 6	ed	図中の L は変数ではないかと思えます。確認をお願いします。  (参考: 固定値と考えられる R はイタリックになっていますので、L と R でのフォントの統一が必要かもしれません。)	変数の場合、イタリックに修正して下さい。	対応国際規格どおりですが、R : 5 mm、L : 100 mm と記載されており、固定値でいずれも立体になります。  対応国際規格の図 5 では、R が斜体なので、次の改訂時に修正提案予定です。
山田 2	1521 1523	22.6	図 29 表 3	ed	図中の「L1, L2, L3, L4, Θ」は変数のような気がします。確認をお願いします。	変数の場合、イタリックに修正して下さい。	ご指摘通り図中の「L1, L2, L3, L4, Θ」は量記号(変数)なので、この五つの記号は斜体に修正致します。  対応国際規格の図 29 では、この五つの記号は立体なので、次の改訂時に斜体に修正提案予定です。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・簡条/細分簡条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-11-26	規格番号: <b>C6870-1-21 改正</b>	プロジェクト:
----------------	----------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 3	1541	23.3	図 30	ed	図中の「F <sub>2</sub> , F <sub>3</sub> 」は変数のような気がします。確認をお願いします。	変数の場合、イタリックに修正して下さい。	F <sub>2</sub> は2kgと明記されているので固定値です。F <sub>3</sub> は量記号(変数)なので、斜体に修正致します。  また、図 30 で r : 1 mm、D : 10 mm で固定値なので立体に修正致します。  対応国際規格の誤記は、次の改訂時に修正提案予定です。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。